

令和3年度

事業報告書

社会福祉法人 明光会

理事長 寺田千尋

・各区に拠点を増やす。

1：令和3年2月駿河区みずほでコインランドリー併設型就労継続支援B型「LavoroMizuho（ラヴォーロみずほ）」を開設。令和3年10月に単独化をする。

2：令和3年4月清水区江尻台町に日中サービス支援型グループホーム「CasaShimizu（カーサしみず）」を開設。短期入所サービスもあり、緊急一時保護対応も行った。地域に密着している点やトイレ、お風呂がついた個室対応ができるので、感染症流行も感染拡大を防ぎやすかった。

3：令和4年に駿河区に日中サービス支援型グループホーム開設の計画は、地区等の検討を進めている。

4：令和3年10月頃には、静岡の街の中心地である鷹匠地区に、就労継続支援B型事業所を開設する計画については、以前から建設予定としていた明光會館を含めた複合的ビルの建設へと変更している。

達成率 90%

鷹匠地区については現在計画進行中であり準備中である。

・法人後見事業を行う

該当職員が令和3年度中に、研修を受講し、準備をしている。

達成率 90%

開設に向けて準備を進めている。研修を受講し対応できるようにしている。

・本体施設の建て替えの準備

安倍学園・ルーチェ仰陽の建物の建て替えについて、用地確保を検討している。用地確保ができない場合は移転もしなければならないと考えている。

達成率 10%

現在用地の確保に向けて情報収集している。

・ヘルパー事業所の立ち上げ

移動支援従事者の研修に2名が参加した。事業所はファミリーユさんあい大岩のコミュニティールームを予定している。職員の配置状況の整理と申請書類を整え、開設に備えたい。

達成率 90%

今年度中はコロナが蔓延している状況であったため開設は4月以降にした。

・特別支援大学の設立を目指す

鷹匠拠点の事業展開と合わせて、令和5年4月開所に向けて、拠点や事業内容の検討を進めている。

達成率 10%

見学先の選定を行っている最中である。

## 目次

- 1 社会福祉法人 明光会 法人本部（健康づくり推進センター・調理・チャオバンビーニ含む）
- 2 明光会内部監査室
- 3 安倍学園
- 4 ルーチェ仰陽
- 5 ファミィーユさんあい
- 6 安倍野工房（喫茶ぴあ～含む）
- 7 けやきワークセンター（ヴェルデあべの・ルンガ・Southぴあ～含む）
- 8 サポートセンターコンパス北斗
- 9 障害者就業・生活支援センターさつき
- 10 ヴィヴァーチェあしくぼ
- 11 フォルテあしくぼ
- 12 Casa Shimizu

## 1 法人本部

### 【令和3年度成果】

#### 1 法人ガバナンスの強化について

- (1) スケジュール管理アプリによる、スケジュール管理の活用はできているが、期日管理に課題が残る。引き続き提出期限の厳守を行っていきたい。
- (2) 記録システムの導入を進めていき、積極的に iPad、PC にソフトウェアを活用することで、即時利用者の状況の把握、職員動線の無駄を省くと共に、縦断的支援から横断的支援とし、利用者一人一人のケースをより深い視点で対応していく。また、利用者バイタル、個別のケース記録の保管、状態の把握をデジタル化することにより職員間の共有を速やかに行えるようにする。
- (3) 電子決裁システム導入、実施をし、更なるガバナンスの強化を図る。
- (4) 内部監査室を立ち上げ、統治システムの構築を行う。
- (5) 本部事務局を業務ごとに課に区分し、専門性を向上する。
  - ・今までは、オールマイティーな事務局員の育成に注力をしてきたが、事業の増加により、着手の必要性を検討していたので、今年度で具現化を行う。

達成率 100%

#### 2 人材の育成

- (1) 働き方改革の内容を遵守し、人材の定着に努める。
- (2) 研修内容の見直し、全員受講を徹底する。
- (3) 人材育成のため、資格取得の奨励をする。
  - ・福祉・介護職員処遇等改善費の有効活用をし、奨励方法の明確化、周知を強化する。
- (4) 職員個人ごとの支援計画を策定し、面談等の実施を行い、具体的な育成プログラムを実施する。
- (5) 人材育成、職場定着のためには、国家資格取得を中心としたキャリアパス計画が必要である。職員一人一人のきめの細かい研修体制と資格取得のための支援体制の構築。
- (6) 本会独自の退職金積み立ての継続。
- (7) 福利厚生面の充実
  - ・有給休暇年間 20 日付与の方に限り 10 日付与の試験的に実施（現状 5 日付与は実施済み）
  - ・主たる介護者、小学生までの子育て中の職員向けにフレックスタイムの実施し、さらに働きやすい職場環境にする。

#### (8) 子ども参観会の実施

・職員の日ごろの活躍をしていただくと共に、福祉教育の一環として行い、広い範囲での福祉人材の確保につなげていきたい。

達成率 90%

(8) の子ども参観会の実施については、コロナの感染状況を鑑み今年度の開催を断念した。

### 3 施設整備

(1) 安全な施設を維持するために、静岡市都市局建築部建築指導課指導係からの特殊建築物【建築物・建築設備】の定期検査報告結果により是正を行う。

(2) 近隣土地の駐車場整備。

(3) あしくぼ利用者用トイレの改修、食堂床改修修繕工事。

以下、中長期計画

(4) 多発している大規模災害を想定し、新たな防災倉庫の新設。

(5) 入所棟屋上防水工事。

(6) 本部中央廊下等 LED 化工事。

(7) 樹木剪定工事。

(8) ヴェルデあべの洗濯用井戸ポンプ工事。

(9) 防犯カメラ増設工事。

(10) ファミィーユさんあい 8 棟 太陽光パネル取り付け工事。

(11) 入所施設食堂椅子テーブル入れ替え。

(12) パン工房あしくぼ 建替工事。

### 4 公益事業の推進

#### 【地域貢献事業】

1 独居老人、老人世帯の無償除草作業の提供

2 当会の管財課員による建具の小修理、棚等の制作等（材料代は負担して頂く）上記、2項目は定款第38条(4)

3 市街地GHのフリースペース無料開放「ゆうゆうサロン」の設置

\*上記、1項目は定款第38条(5)

内容：老人世帯の草刈り、除草は体力的にも相当な負担であることが、古紙回収事業トリクルによる報告で明らかである。除草希望世帯を周辺町内会に呼びかけ、申し込んでいただく。

対象	老人世帯	地域	静岡市葵区・駿河区
費用	無償		
予算	1月約200,000円	年間 2,400,000円	
担当	管財課 望月智明	安倍野工房 けやきワークセンター フォルテあしくぼ	
応募方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スーパー等の店舗にチラシを掲示させて頂き、募集する。</li> <li>・法人所有車両へのチラシの掲示</li> <li>・ホームページや広報誌、イベント時のチラシの配布</li> </ul>		
成果の公表	① 法人ホームページ② 広報誌「あべのたより」		

#### 4 【生活困窮者支援事業①生活保護受給者への限定的家賃補助事業】

生活保護の受給を受けている方は、家賃が39,000円以内の住居でしか居住することができません。

当法人のグループホームを利用される方で、生活保護を受給されている方が家賃39,000円以内の設定でない棟に法人の処遇上の理由で入居する方に限り、家賃と39,000円の差額分を法人が補助します。

#### 5 【生活困窮者支援事業②】※今後検討事項

新制度に於いて、社会福祉法人の社会福祉充実額の低い法人は、この事業に取り組まなければならない。当会は再投下額が3億円を超えているので、当分は取り組まなくても良いことになる。取り組む内容は、生活困窮家庭の子弟が福祉系大学あるいは福祉医療等専門学校へ進学する際の授業料等の助成を行う。100万円を限度として貸し付ける。有識者を交えた選考委員会を設置し、公正に行う。

対象	生活困窮世帯	地域	静岡市内に在住する方
予算	年間1,000,000円 5名まで		
担当	法人本部事務局		
応募方法	② 高等学校による推薦 ② 進学先（福祉系大学、専門学校）による推薦		
選考	有識者を交えた選考委員会により決定する。		
成果の公表	① 法人ホームページ② 広報誌「あべのたより」		

## 2 内部監査室

### 【令和3年度成果】

1 指導監査、実地指導、労働環境の確認等、事業運営における各種法令、基準の遵守について定期的に点検することで、運営の健全を担保する。

達成率50%

・内部実地指導の実施等が不十分であった。事業所数及び確認項目の分量が多いので、来年度は優先度をつけて、対応をしていく必要がある。

2 各規定の見直しを行う。各分野で法改正が生じたものは、随時理事会にか  
けられるようにする。達成率30%

・対応できている規程もあるが、他の規程の読み合わせが進まず、時代に即した規程内容かを確認できていないことが次年度への課題である。

3 年間スケジュールに沿って、項目1及び2が実施できるようにする。

達成率40%

・優先度の区分とタイムスケジュールを明確にし、来年度は対応を進めていくように修正する。

## 健康づくり推進センター

### 【令和3年度成果】

1 感染予防、拡大の防止に努める。達成率70%

コロナ対策については一部職員（職域接種）・利用者のワクチン接種をR3.6月～9月にかけて佐々木医師に集中して実施をして頂いた。

R4.2月からの陽性者の発生、クラスター発生時は寺田医師、佐々木医師にご指導いただきながら対応をしました。陽性者発生時に備えBCM委員とも連携し様々な準備をしていたが、実際発生すると各部署との連携が難しい場面も多くあった。陽性者の健康観察、服薬など看護師が率先して動いてしまったために1名が罹患、その後もう1名の看護師の負担が大きくなってしまったことと、指揮管理が十分行えなくなってしまった。

自身の感染対策を行うとともに、非常事態時に指揮管理が行え感染拡大を防ぐためにもマニュアルの見直しを行う。

2 本部以外の利用者の受診状況、服薬状況が確認できるようなシステムを作る。達成率80%

CasaShimizuについては通院記録を共有で閲覧できるようになり、お互いの利用者の状況について把握できるようになった。



ファミリーユさんあい大岩についてはお互いに把握できない状況が続いている。今後共有できる方法を検討する必要がある。

ヴィヴァーチェあしくぼ・フォルテあしくぼについてはR4.4月より新しい健康管理体制となり、利用者・職員の健康状況が把握しやすくなります。

各拠点と連携をとり、事業を進めていきます。

### 3 利用者の体重チェックを定期的に行い健康状態の把握に努める。

#### 達成率50%

ルーチェ仰陽（入所）については体重減少や食事の摂取方法について提案し変更している。今後はファミリーユさんあいについても検討を行っていく。

### **【人材育成・チーム形成成果】**

#### 1 各看護師に業務分担を行う。達成率90%

令和3年度途中より、本部は2名体制となった為、事業ごとに担当を決め、実施するようにした。体調不良者への対応や通院などは、突発的なことが多いため、担当を決めず、随時対応している。

#### 2 マニュアルの整備（薬セット・通院・などのマニュアル作成と、現在あるマニュアルの訂正）達成率10%

内容の見直しや新しいマニュアルの作成は行うことが出来なかった。

#### 3 定期的に研修会を設ける。達成率80%

年度途中で看護師が1名退職し2名となった為、定期的には研修会を設けなかったが、検討が必要な事例についてはその都度話し合いや勉強会を実施した。

＜令和3年度まとめ＞

・原因は個々に違いますが、救急搬送や入院をするご利用者が多く、それに伴う通院対応が多く生じた。

・通常の健診（検診）、予防接種に加え、コロナワクチン接種・コロナクラスター発生などがあり、例年と違う対応をしなければならないことが多くありました。その都度対応を考え実施しました。施設として経験のないコロナクラスターが発生し、施設一丸となり対応しました。この経験をもとに災害発生時、健康づくり推進センターとしてどのように行動するかを話し合っていく必要がある。

・ルーチェ仰陽（入所）利用者の体重減少について担当部署、調理と話し合い食事量の調整を行いました。利用者の年齢・特徴もふまえ、対応が難しい面もありますが今後も継続していく。

## 調理

### 【令和3年度成果】

#### 1 栄養ケアマネジメントの充実 達成率75%

- ・個別支援会議については、資料確認や現場職員への聞き取り等を行い、管理栄養士としての意見を伝えることで、ご利用者の状態把握に努めた。
- ・健康づくり推進センターとの情報共有については、必要に応じて医務ミーティングへ参加し、ご利用者の状態に合わせた食事内容を検討できた。

#### 2 手作りの給食の継続 達成率90%

- ・勤務人数に応じて献立内容を工夫することで、概ね毎食手作りの給食を提供することができた。休日の朝食およびファミリーユさんあいの朝食についてはパン食となっているため、人員が確保できた場合には朝食の手作りも検討していく。

#### 3 栄養価の改善 達成率85%

- ・調理員からも意見を募りながら使用する食材や献立内容を工夫することができ、栄養素、食品群ともに大幅に摂取率の改善がみられた。

#### 4 給食材料費の目標達成 達成率90%

- ・献立予算表の作成と10日毎の給食材料費確認を行うことで予算内に収まるよう調整を行うことができた。緊急時のお弁当対応や食材の価格高騰がみられるので、予算を越えることのないよう十分に注意していく。

### 【人材育成・チーム形成成果】 達成率90%

#### 1 チェック表を用いて職員の言動について良いチームを形成できるよう管理する

支援向上セルフチェック、業務改善チェックを毎日行い、業務中の言動について注意・確認した。

#### 2 朝礼にて調理分担計画、休憩時間等を共有し、チームとして協力的・効率的に業務を行える体制を作る

朝礼や連絡ノートにて情報共有を行うとともに、必要に応じて厨房内で声を掛け合うことで協力しながら業務を行えた。

#### 3 メンター制度を継続し、新任職員が明確な指示のもと安心して働ける環境を作る

指示系統が混乱しないよう、メンターを通じて指示確認や相談を行った。

## チャオバンビーニ

### 【令和3年度成果】

#### 1 子供たちが安心して過ごせる為の環境を備える。達成率90%

- ・室内の清掃、消毒は、毎日行うことが出来感染症対策に心掛けることが出来た。
- ・午睡用にベッドを使用し、ソーシャルディスタンスに心掛けた。
- ・CO2、温度、湿度が表示される物を購入していただき、毎日チェックすることで調節し、過ごしやすい環境を作ることが出来た。
- ・保育室の床を変えていただき、部屋が明るくなり過ごしやすくなった。
- ・こども用手洗いのカバーが壊れ始めている。作り直そうと思っていたが出来なかったなので、早めに対応する。

#### 2 子供の成長発達に応じた保育を行う。達成率90%

- ・登園時にご家庭での朝の様子を聞き、連絡帳でチャオバンビーニでの様子を知らせている。
- ・コロナウィルスが感染拡大している中で、園外保育が困難になっていた。園外の散歩は回数が少なかったが、行うことが出来た。
- ・外出・収穫体験はコロナウィルス感染拡大の中出来なかった。
- ・季節の制作は毎月行い、出来上がった物を持ち帰ることが出来た。
- ・年間行事計画、週案、日案を作成し、活動を行うことが出来た。

#### 3 保護者に向けて情報を発信し、協力体制を整える。達成率100%

- ・毎日の連絡帳で様子を記入し、保護者に伝えることが出来た。
- ・毎月、園だよりを発行し、保護者に様子を伝えることが出来た。
- ・家庭の環境を把握し、言葉がけに気をつけ、保護者が安心して仕事出来るように協力することが出来た。
- ・相談を受けたことは、親身に考え答えることが出来た。保育士だけで解決できない問題は上長に相談し保護者に伝えることが出来た。
- ・保護者、子供に寄り添い、成長の手助けが出来た。

### 3 安倍学園

#### 【令和3年度成果】

- 1 安倍学園が育む子供＝生活する力を育てる（健康・性格・身辺処理・仕事・会話・読み書き・計算）  
各年代に置ける目標を置き、利用者支援を行う。 達成率60%

○実現するために取り組むこと

1. 個別のニーズ確認、支援計画の作成 達成率60%
2. 進路計画の作成を4月に行いスケジュール作成 達成率70%
3. 余暇活動の充実 達成率80%
4. 生徒会の実施 達成率60%

#### 福祉型障害児入所施設

	R03 計画目標	R03 実績	R04 計画目標
一日平均入所児（者）数	20	13.4	20

<令和3年度まとめ>

- ・児童一人一人に担任、副担任を設け職員も意識し児童に対応することが出来た。
- ・児童も自分の対応をする職員が居る安心感や満足感が昨年度より得られているように感じた。
- ・発達障害の児童や、コミュニケーション、愛着の問題など様々な課題がある児童が多く、不安定になることもあるが、1年をかけ、児童への声掛けのタイミング、個別対応開始の共有、事前にどのように職員配置を決める事で、児童との時間を作るかなど検討できるようになってきている。
- ・インカムを利用することで、対応や共有が迅速になった。
- ・来年度は、感染対策をしながら、外出の機会をできるだけ作り、社会性の向上に取り組めるような活動立案を行う。
- ・生徒会を通して職員が見本となり自治活動やルール決めや確認を毎月継続し取り組めるように準備する。

## 短期入所・日中一時支援

	R03 計画目標	R03 実績	R04 計画目標
年間利用延べ人数	100	75	100
一日平均利用人数	0.2	0.2	0.2

### 【人材育成・チーム形成成果】

\*安倍学園・ルーチェ仰陽・ファミリーユさんあい共通

1 年間計画と各計画を、余裕を持って周知することで、各職員の事前準備をする時間を確保できるようにする。達成率60%

- ・年間計画の作成と各行事計画作成の日程に余裕を持つことが出来なかった。余裕を持ち、立案できないことで、職員共有の課題や、準備不足が多く出ることとなった。

2 職員それぞれの力を発揮できる仕組みづくりや話法を追加したマニュアルを整備していく。達成率60%

- ・インシデントに対してのマニュアル整備が先行している。マニュアルを見直し、修正する際には、話法を組み込むようにしている。

### ○実現するために取り組むこと

1 部会研修会の内容の見直し 達成率80%

- ・常勤・非常勤は部署ごとに分け研修をすることで、内容に即した話し合いや課題の改善が出来るようになってきている。
- ・起きた事故などの様子が防犯カメラで見ることができ、人の記憶だけに頼っているだけではなく、実際の状況を見て、どのような対応が必要か考えることができるようになった。
- ・ほのぼのの活用がまだ100%ではないので、行動面、情緒面などのグラフ化ができるところまで行えるようにしたい。

2 朝礼、昼礼で情報共有を行う 達成率80%

- ・平日の朝礼、昼礼は毎日必ず行うことが出来ている。
- ・土日は朝礼をせず支援や活動に入る事があり、怪我や事故につながる事が多くあった。朝礼を必ず行うように再周知し現在取り組んでいる。

### 3 職員の個人目標設定 達成率90%

- ・新任の先生にはペアになる職員を付けることで、課題感をスムーズに解決できるように行えた。新人職員とペアとなった職員へのケアが行き届かず、体調不良になることが起きている。
- ・自己業務スケジュールを各職員が作成し確認する事で、進捗の確認や、滞りが出ていることなど、確認することができるようになってきている。

## 4 ルーチェ仰陽

### 【令和3年度成果】

#### 1 生活する力や質を高める支援 達成率80%

- ・体力づくりは、毎日取り組むことができている（雨天時を除く）。園内歩行を取り入れ、季節を感じ、気分転換も図るようにしている。園外歩行については実施することができなかった。

#### 2 記録・マニュアルの徹底 達成率70%

- ・記録システム（ほのぼの）については、通所ではまだ導入していない。
- ・毎日の活動記録等日誌については遅れることなく提出することができている。
- ・個人記録等記載内容が、職員により偏りが出てくるので、研修会にて取り上げ、意見交換をしたり、施設長からのご指導を受けている。

#### 3 活動・余暇の充実 達成率90%

- ・月に2~3回、陶芸、絵画、ペーパークラフトの職員によるクラブ活動を実施している。愛護ギャラリー準備時など、必要時には講師に来ていただき、助言等いただいている。（利用者との接触は避け、職員が指導を受けている）
- 作業班…エコキャップ活動については、毎日取り組むことができている（真冬日、真夏日、荒天時は控えるようにしている）
- 園芸班…じゃがいも（冬~夏）、サツマイモ（夏~秋）の栽培、収穫。
- 工芸班…壁面づくり、作品づくり、販売を実施。12月にはクリスマスツリーを作成、販売。絵画作品の製品化については進めることができていない。
- ・余暇支援（季節ごとの行事、買い物外出）としてはお花見の会、愛護ギャ

ラリー外出、福祉楽市外出、初詣、クリスマス会、買い物外出（園芸班）、節分の会を実施。コロナ感染予防のため、日帰り旅行については実施できていない。

**施設入所支援 平均年齢 48.9 歳**

	R03 計画目標	R03 実績	R04 計画目標
一日平均入所者数	27	22.2	27

**短期入所・日中一時支援**

	R03 計画目標	R03 実績	R04 計画目標
年間利用延べ人数	183	113	250
一日平均利用人数	0.50	0.31	0.68

コロナウィルス感染拡大の影響を受け、短期入所、日中一時支援共に、利用人数が激減している。ご家族の希望を受け、今後は、感染予防を徹底し、通常の受け入れを再開していく。

**生活介護 平均年齢 48.9 歳（通所者のみの場合、41.2 歳）**

	R03 計画目標	R03 実績	R04 計画目標
一日平均利用者人数	49	44.5	60

新規利用者や高齢の利用者において、週 1～3 回の利用者が増えてきている。利用者の体調に合わせた支援を行うと共に、体力の維持、向上を目指し、利用頻度を増やしていく。

## 5 ファミィーユさんあい

**【令和 3 年度成果】**

1 巡回計画を立て、個別の傾聴の機会を増やし、ニーズを聞き、支援に活かす。達成率 70%

・大岩本町 GH への巡回が計画通りに行う事ができなかった。支援者からの情報連絡やご利用者自らが個別に相談をしてきてくれる時などは、お話を聞き、解決や支援に活かす事ができた。コロナ禍の中、外出や帰宅ができない状況が続いた時には、ご利用者の後見人や保佐人、ご家族に様子などを伝えるように心がけた。日頃の様子に変化があった場合などは、職員間で共有をする事で職員同士が同じ支援をするように話し合う事ができた。

2 移動支援の申請を行い、余暇外出の充実を図る。達成率 10%

・移動支援の申請及び移動支援のサービスの活用がコロナ禍という事もあり実現できなかった。ご利用者のニーズに対応できるように、個別に聞き取りを行い、必要な物品の購入等を代わりに行った。

3 自立に向けた支援を個別に計画的に行う。(調理実習、通院支援、買い物支援、旅行、携帯電話の使い方 (Wi-Fi 含む)、交通ルール (自転車の乗り方)、防災、防犯、公共サービスの利用方法等 達成率 50%

・令和3年度は本部と大岩のグループホームでも Wi-Fi の使用ができる事となった。事前にアンケートをとり、Wi-Fi の利用を希望された方には使用方法や携帯電話の使い方や注意事項等を伝える事ができた。地域で行われる清掃や防災訓練には地域で生活をする一員として参加をし、地域の方と協力し行う事ができた。

**共同生活援助**

	R03 計画目標	R03 実績	R04 計画目標
一日平均入所者数	50	36.5	40

**【人材育成、チーム形成成果】**

1 業務内容の見直し、分担化 達成率 70%

・早・遅・夜勤と何人かの職員が対応をする際にマニュアルに沿って行っているが、それぞれの職員のやり方で行う事がないように、研修会等で業務内容の確認や困り事などを共有した。時間帯によっては1人勤務となる事がある為、突発な事が発生した時の業務の優先順位などを決め、慌てる事なく支援ができるように検討した。記録等の業務の短縮を図る為にほのぼの記録システムの導入を開始した。大岩 GH の導入は今後行う予定となっているので、活用できるように準備を行っていききたい。

2 丁寧な指導、寄り添った対応、動画化したマニュアル作成 達成率 70%

・チーム内での困り事や利用者支援については、朝礼時や研修時に課題を出し早目の対応ができるようにした。ご利用者への薬を塗る処置の方法について動画撮影をした際には手順が分かりやすかった為、今後も動画でのマニュアル作成、マニュアルの整備を行うようにしていきたい。

3 ご利用者へしてあげたいサービスを考え提案する時間の確保。そして実行に繋げる。達成率 60%

・日頃の支援から職員が感じた事や、ご利用者から聞き取った事などを朝礼時や研修会で発言し意見交換ができた。その中ですぐ対応ができる事は実行をした。今後ご利用者のニーズに沿ったサービス、提案や計画を実行に繋げていく時間をしっかり確保していきたい。



## 6 安倍野工房 (LavoroMizuho・喫茶びあ～含む)

### 【令和3年度成果】

#### ご利用者への支援 達成度80%

- 1 利用者のお話に耳を傾ける、共感することを意識する。
  - ・ご利用者のお話には常に耳を傾け、まずは受入れ、理解を示し共感することを意識し取り組んだ。
  - ・話を聞き、受け止め対応することでご利用者の信頼を獲得し関係を築くことに取り組んだ。受け止めが充分であったか、その都度検証し、今後にご利用者の満足度向上に努めていく。
- 2 利用者一人一人に合った得意な作業をみつけていく。
  - ・みずほでの洗濯業務やみかん農園の作業等新たな作業を取り入れご利用者の得意な作業を見つける機会を増やす取り組みを行った。
  - ・出来たことを評価することで成功体験を重ね、モチベーションが上がるような支援を心掛け取り組んだ。
- 3 就労移行支援や就労継続支援A型への移行を目指した個々の長期目標計画を立てる。
  - ・目標に対しどんな課題があり、課題を解決するために何を頑張るのかをご利用者と共有し、その取り組みがどう成果につながるのかを明確にし、ご利用者自身が長期的な目標を持てるよう支援を行った。
  - ・就労移行支援、就労継続支援A型への移行の前のスモールステップとして就労継続支援B型のLavoroMizuhoへ4名の移行を行いました。
- 4 作業メニューを増やしていき、個々の得意な作業をみつけて行えるようにする。また、「お便り」を毎月発行して事業所を見に来られない保護者の方へ普段の様子をお伝えした。
  - ・法人内入所施設共有部の清掃・園内整備・洗車・ワックス作業等や市施設清掃業務等の公共的な作業、一般企業からの受託作業、地域貢献事業として草刈奉仕、地域の公民館やガードレールの掃除等多数の作業メニューを提供し支援を行った。またご利用者の日頃の作業の様子や行事等の様子を広報誌にてお伝えをした。

### 安倍野工房 就労継続支援B型

	R03 計画目標	R03 実績	R04 計画目標
一日平均利用者人数	22	17.4	22

- ・令和3年度の平均利用定員数は17.4名です。

退所者は5名で、うち利用を終了した方が1名、LavoroMizuhoへの移行をした方が4名。1名は、ルーチェ仰陽に入所される為、9月30日で退所されました。10月からのLavoroMizuho単独化に伴い3名、翌11月に1名の方が移行をされました。

・令和3年度の新規利用者数は3名です。静岡大学附属特別支援学校卒業後4月1日より1名、令和3年8月16日より1名、令和4年2月1日より1名の方が利用を開始されました。

#### LavoroMizuho 就労継続支援B型

	R03 計画目標	R03 実績	R04 計画目標
一日平均利用者人数	10	4.3	10

#### 【人材育成・チーム形成成果】達成率60%

1 作業内容が増え、ヘルプや慣れていない職員が支援に入る。そういったときに作業のマニュアル、作業の際の話法マニュアル、利用者さんの特徴一覧を作成しておき、共有する。

・既存のマニュアルの他にご利用者も理解できるよう写真や絵図等を使用し手順書を作成し、作業中見て確認出来るよう掲示し活用した。

2 朝礼を活用して自分の意見や提案、疑問を出し合える雰囲気づくりを行う。

・職員全員がすぐに共有出来るよう、朝礼の時間を活用してご利用者の支援について話をしている。職員間で指示、説明のような形で伝えることが多かった印象があるので、今後は意見や提案が出るような形の話し合いが出来るよう改善する。

3 事故、インシデント、ヒヤリハットの早期発見、早期対策、情報共有を朝礼内で行う。

・朝礼にて事故、インシデント、ヒヤリハット等の情報共有を行いました。またご利用者の支援についても話し合いを行い、統一された支援を行えるよう努めた。

## 7 けやきワークセンター（ヴェルデアベの・ルンガ・South ぴあ〜）

### 【令和3年度成果】

#### 1 常時定員の確保に努める。達成度：91%（令和3年度月平均18.25人の実人数在籍）

・法人内相談支援事業所（支援センターさつき）と連携して情報発信を行っている。関係機関の数が多いことから、全ての事業所に直接訪問することが出来ていないので、引き続き情報発信をするとともに顔の見える関係づくりが構築できるようにする。

#### 2 専門性のある訓練・作業科目の確立と関連業種への就労移行に繋げる。達成率100%

・令和3年度は3名のけやきワークセンター訓練生が介護職員初任者研修を受講しました。また、令和2年度受講者が法人内事業所で採用されたり、法人内就労継続支援A型事業所（ヴェルデアベの）にて業務のステップアップを図る等、研修受講後の就労実績へと繋げることが出来た。

#### 3 職員の支援技術の向上と統一化・標準化を図る。達成度：70%

・研修会では、新任職員や経験年数が浅い職員がいたことから、ご利用者に対する基本的な支援方法や一行記録等の記録の取り方、新規利用者の情報共有、作業・訓練の進め方の留意点や統一に時間をかけて行った。事例検討やロールプレイについては、基本を理解した上で段階的に実施していく。外部研修等への参加については、zoomでの参加が出来るよう今後も調整していく。

#### 4 静岡市が定める「静岡市障がい者共生のまちづくり計画」内の目標値等を意識した取り組みを行う。達成度：82%

・静岡市就労移行支援事業所連絡会が行った、静岡市内の放課後等デイサービス事業所の事業所見学会に参加し、けやきワークセンターの取り組みや就労実績等について宣伝を行った。様々なルートからけやきワークセンターへの利用に繋がっていきけるよう今後も関係構築を図っていく。

### 就労移行支援事業

	R03 計画目標	R03 実績	R04 計画目標
一日平均利用者人数	20	16.8	20
一般就労移行者数 (A型事業所は除く)	6	7	6

令和3年度は、令和2年度と比べ新型コロナウイルスの影響も徐々に緩和されてきたことや介護職員初任者研修受講によるエッセンシャルサービスへの就労

が実績へと繋がっています。

一日の平均利用者数については、月平均の在籍数としては16.8人となっているが、土曜日や祝日のお休みを希望される方が増えていること等から、若干数値が下がっている。土曜日や祝日の通所については、半日の開所とすることで通いやすくしたり、学習会等作業以外の内容を盛り込んでいくことで利用率を高めていくことが期待できる。

#### 就労継続支援 A 型事業

	R03 計画目標	R03 実績	R04 計画目標
一日平均利用者人数	10	10	10

・新型コロナウイルスの影響により、令和4年2月9日から約3週間ほど通所自粛となった。ヴェルデあべのの職員が、ルーチェ仰陽の直接処遇に業務したことだったことで、利用者対応が可能な業務や勤務時間、勤務日等の調整についても関連部署と相談し進めていくことが検討できた。

#### 就労定着支援事業

	R03 計画目標	R03 実績	R03 計画目標
一月利用者人数	10	13	15
就労定着率	90%	84.6%	90%

・令和2年度は新型コロナウイルスの影響により、自宅待機・休職・出勤日数の減少となったご利用者（就労者）もいましたが、令和3年度では自宅待機・休職・出勤日数の減少となるご利用者（就労者）はいなかった。（就労されている事業所内で陽性者が確認されたことで、一時的に自宅待機となるケースはあった。）

令和3年度中に2名のご利用者が退職をした。退職理由として、就労意欲の減退や感情のコントロールが出来ず、職場内で大声を出したり泣いてしまうことがあり、職場及び家庭訪問による面談・現地支援を行っていましたが、ご本人たちからも退職の意向が確認されたため退職となっている。

退職後は、サポートセンターコンパス北斗にも介入し、法人内就労継続支援 B 型事業所の利用へと繋げている。

定着支援（ルンガ）を利用後のさつきへの支援機関の移行もサービス担当者会議（個別支援会議）の実施等により円滑に行っている。

【人材育成・チーム形成成果】 達成度：80%

- ・ ご利用者の目標達成が職員とも共有され、職員の達成感や今後のやりがいに繋がっていくようにする。マンパワーに頼った支援ではなく、チームで課題を共有し解決していくことで事業所全体の支援力の底上げを図る。
- ・ 部会・研修会内でうまくいった取組・支援についても共有できる機会を設ける。
- ・ 部会、研修会だけでなく、朝礼等も活用し、良かった取組、支援について共有している。ただ、良かった取組については、ヒヤリハットやインシデントほど報告したり共有したりしようという意識がないので、良かった取組を発信する雰囲気をつくっていく。
- ・ 終礼時に担当者間で月内の予定を共有し、計画的に業務を遂行することで超過勤務の削減に繋げる。
- ・ 短時間勤務職員が複数いることから、朝礼時に予定を共有している。
- ・ 現状の業務分担を考慮しながら、サービス管理責任者の実務経験を積めるようにする。
- ・ 他部署職員に対して、都度助言をする等対応した。

## 8 サポートセンターコンパス北斗

### 【令和3年度成果】

#### 1 数値目標の達成 達成率80%

・ケース会議や地域の関係機関との連携の回数など、数値目標の達成のために積極的に実施をしたが、コロナ感染の影響で実施できないことが生じていた。今後はzoomの活用を行い、極力実施する方法を取り入れていく。

#### 2 委託事業の計画的実施 達成率 60%

・障害児等療育支援事業は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、計画的な実施ができなかった。その中でも、療育機関等に対する研修会については、「愛着障害」、「ライフサイクルの中での就労について」など、療育機関が興味のあるテーマで取り組むことができた。

#### 3 質の高い相談支援の実施：重層的相談支援の実行 達成率100%

・他の相談支援事業所所につながらなかったという相談者の方もいるので、当方で受けるか、対応件数が月により多い場合は、他の相談事業所につなげることで、「断らない相談」の意識を強化し、対応に反映している。

・部会・研修会にて、相談支援技術の向上に取り組むために、相談援助のワードを活用した場面の振り返りと想定を訓練している。外部研修のフィードバックを行った。

・週1回のミーティングを活用し、ケースや支援の情報を共有することで、チーム支援の意識のもと、各相談員が過度な負担感を持たずに相談支援に取り組めた。

#### 4 地域自立支援協議会への積極的に参画し、支援体制づくりを担う。

#### 達成率90%

・静岡市障害者自立支援協議会の相談支援部会、子ども部会、就労支援部会に所属し、地域課題の抽出及び解決に向けた検討を協議している。

### 委託相談＜静岡市障害者等相談支援事業＞

	R03 計画目標	R03 実績見込み	R04 計画目標
一日平均利用者人数	5.0	5.4	6

### 障害児等療育支援事業

	R03 計画目標	R03 実績	R04 計画目標
訪問による療育指導	24回	0回	24回

外来による専門的な療育相談、指導	48回	0回	48回
職員の療育技術の指導	7回	4回	7回
療育機関に対する支援	2回	1回	2回

・年間延べ件数 875 ・ケース会議の開催 24件

<川根本町障害者相談支援事業> 達成率 70%

	R03 計画目標	R03 実績	R04 計画目標
一日平均利用者人数	2.0	1.3	2.0

・精神障害の方を中心に基幹相談支援センターと連携を図りながら、支援を進めることができているケースが増えている。

・若あゆ会では、2月にピアサポートの学ぶ機会を設ける予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大のため、中止となった。今年度、新たな参加者が増えている。

・年間延べ件数 327件 ・ケース会議の開催 12件

<高次脳機能障害支援普及事業> 達成率 60%

	R03 計画目標	R03 実績	R04 計画目標
一日平均利用者人数	2.0	1.1	2.0

・静岡市については、静岡市主催の研修会や情報交換会に出席し、活動実績等を報告している。また、支援フローチャートについても、行政や医療機関等と作成を進めることができている。

・志太榛原圏域に関しては、今後フローチャートの効果の検証を実施予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、連絡会議を書面開催としたため、次年度持ち越しとなっている。

特定相談 達成率 60%

	R03 計画目標	R03 実績	R04 計画目標
月平均サービス等利用計画	35件	35件	35件
月平均モニタリング作成	67件	80.6件	85件

障害児相談

	R03 計画目標	R03 実績	R04 計画目標
月平均サービス等利用計画	5件	6.1件	7件
月平均モニタリング作成	5件	9.4件	10件

・利用者データベースの移行し、活用しながら、リストから漏れることを減らすことができている。

【人材育成・チーム形成計画】達成率 60%

1 好事例等をシート化し、チーム内で支援方法を見やすくする。

・好事例を発表して、日頃の支援について振り返り、どのアプローチが効果があったのかを考えることができた。毎年実施し、まとめていけるようにしていきたい。

2 外部研修に積極的に参加し、フィードバックする。

3 ミーティングにてそれぞれの業務の状況を確認し、業務分担を行い、超過勤務を減らす。

・ミーティングにて、ケースの進捗等を共有することができている。  
 ・事業所への本書発送は、ルーティン化ができつつあるため、継続して実施していく。

9 障害者就業・生活支援センターさつき

【令和3年度成果】

1 数値目標の達成

雇用安定等事業

	R03 計画目標	R03 実績	R04 計画目標
年間相談件数	4,000	3,139	3,000
企業相談件数	1,000	1,207	1,000
訓練・実習あっせん件数	40	24	40
就職件数	40	29	40

・相談件数 3,139 件（達成率 78.5%）で未達であった。ワンストップ就労相談は毎月定例開した。（ハローワーク静岡・清水、5 風来館）  
 ・企業訪問件数 1,207 件（達成率 121%）で達成した。  
 ・訓練実習あっせん件数 24 件（達成率 60%）で未達であった。  
 ・就職件数 29 件（達成率 72.5%）で未達であった。

生活支援等事業

	R03 計画目標	R03 実績	R04 計画目標
年間相談件数	雇用安定に含む	同左	1,000



## 就労移行等連携調整事業

	R03 計画目標	R03 実績	R04 計画目標
年間アセスメント件数	50	50	50

- ・就労移行等連携調整事業は数値目標はないが就労継続支援 B 型事業所利用者のアセスメントを 50 件行った。

### 2 新規相談者の就労アセスメント実施の徹底。

- ・静岡県各センター相談支援員を対象としたワークショップ(アセスメントツールの利活用)に参加し、アセスメント技術向上に役立った。
- ・定着支援活動の強化としては、
  - ①ハローワーク、特別支援学校進路担当者との協働による特別支援学校新卒者職場訪問。(5月～7月)
  - ②定例的な職場訪問による定着支援活動。※定期的な訪問であっても職場により(介護・福祉施設関係)、中止して欲しいとの要望がありできなかったところもあった。
  - ③新型コロナウイルス感染症流行のため、感染防止を徹底し、さつき登録者の交流会を開催した。

- ・在職登録者交流会(8月中止、3月)
- ・土曜サロン(4月、12月)
- ・5時からサロンの開催。(毎月第2水曜日)

### 3 定例カンファレンスにより統一した支援方針を共有する。

- ・月曜定例ミーティングは毎週実施できた。：担当相談事例が複雑化・長期化していることから今年度は主に困難な事例を一人で抱え込まないことを主眼に置きカンファレンスの形で行うことが多かった。各相談員からの意見も活発にできるようになりいろいろな解決手段の提示に繋がった。

### 4 相談員の支援技術の向上を図る。

- ・相談部会・研修会は、コロナウイルス流行もあったが、年 11 回開催できた。
- ・さつき就業・生活支援連絡会の開催：・新型コロナウイルス流行のため、感染防止を徹底し、6月と2月(2回) 集合形式とオンラインを組合せて開催した。
- ・オンラインで開催された中部北陸ブロック経験交流会議、研修会(主催：岐阜県)に参加した。

### 5 自立支援協議会を中心とした地域支援体制作りに参画する。

- ・静岡市障害者自立支援協議会(2回)、就労支援部会、相談支援部会、虐待防止部会の各部会に出席した。

## 【人材育成・チーム形成成果】

事業の枠にとらわれることなく相談員同士が知恵を出し合い忌憚なく議論ができるチーム、一人の意見ではなく全員の意見が反映されるチーム作りをする。

## 10 ヴィヴァーチェあしくぼ

### 【令和3年度成果】

#### 1 常時定員40名を確保する。達成率80%

令和4年3月に2名が事業所移行により退所となった。

令和4年4月1日に特別支援学校卒業生を1名を受け入れる予定となっているものの、今後65歳を過ぎて、介護保険への移行希望者も出る可能性があるため、引き続き定員確保のために、取り組んでいく。

#### 生活介護

	R03 計画目標	R03 実績	R04 計画目標
一日平均利用者人数	40	32.7	40

#### 2 利用者支援に関して

(1) 保護者参観会を前期、後期に年2回実施し、ニーズを吸い上げ、個別支援に反映させていく。達成率70%

コロナウイルス感染症の影響もあり年2回のモニタリングについて、個別の面談は実施出来ず、連絡ノートや電話等での対応となった。サポートセンターコンパス北斗の計画相談と一緒に面談を行う流れができつつあるため、更なるニーズの吸い上げとサービスに結び付けていきたい。

(2) 利用者一人一人に対する適切な支援の実施。達成率80%

・身辺面の力を伸ばす支援の実施に心がけた。新たに入浴支援を行うことが出来た。

・日課表を活用し作業や日課の見通しがつくように実施した。

(3) 日中活動の充実による満足度の向上を目指す。目標工賃2,500円

達成率100%

・チャオちゅーるの袋詰が順調で平均工賃を4,000円を超えることができた。

(4) 環境整備 達成率80%

・室内温度、湿度の管理を行う。また、事業所の周りの整備も定期的実施した。

## 【人材育成・チーム形成計画】

\* ヴィヴァーチェあしくぼとフォルテあしくぼは共有内容

・ 仕事内容のシステム化、標準化により、生産性を向上させ、残業ゼロのチームを目指し実施することが出来た。

・ マニュアルを整備し、支援の統一を図る。

ヴィヴァーチェあしくぼの超過勤務時間は大幅に削減し、現在1名がヘルプに行く時間として残業になっているのみで、あしくぼの勤務での残業はほぼ無い。今後も計画的な仕事と、仕事内容のシステム化により、生産性を向上させて、残業ゼロを維持していきたい。

・ フォルテあしくぼとの合同研修会で事例検討やロールプレイ等を通して知識や技術を共有しステップアップにつなげることは難しかった。マニュアルも作成はしたものの、反映までに至っていないため、今後研修会を使ってマニュアルの統一を図っていきたい。

・ あしくぼ内での委員会及びグループミーティングを毎月行い、課題を明確化し、課題の改善に対して、意識を統一化させチーム力向上を目指すことを今後取り組んでいく。

## 1 1 フォルテあしくぼ

### 【令和3年度成果】

1 常時定員20名を確保する。達成率100%

#### 就労継続支援B型

	R03 計画目標	R03 実績	R04 計画目標
一日平均利用者人数	20	19.3	21

4月の年度当初は21名で始まり、9月から22名でした。今後も、積極的に実習生等を受入、希望のある方の利用を増やす。・特別支援学校進路担当教員等を対象とした見学会の実施。・特別支援学校の進路担当者会議での事業所紹介。・サポートセンターコンパス北斗やさつきとの連絡調整。の4項目を行い、定員確保に努めていく。

2 目標工賃26,000円以上とする。達成率100%

・ 令和3年度3月末で平均工賃29,434円。目標工賃を28,000円以上とし就労継続支援B型に係る基本報酬の算定基準については平均工賃月額が2万5千円以

上3万円未満の所に入ることが出来た。

- ・平成29年度後半より請け負っている昭和パッケージ（チャオちゅーる）の作業を固定化していく。
- ・今後も、・地域との交流を図り、積極的にイベント等に参加する。・地域農家からの野菜販売委託の実施。・パン工房のメニューの見直しを5月10月に行い同時に新商品の開発を行う。・令和2年度より取り組んでいる焼き菓子を充実させ店舗販売を行う。上記4項目については実施して行きたい。
- ・鷹匠の新店舗にて新メニューの開発を進める。

### 3 ふじのくにソーシャルグッズ・コンテストへの出店と入賞 達成率50%

- ・令和3年度「ふじのくにソーシャルグッズ・コンテスト」は中止でしたが、明光会内部で行われたコンテストでは上位になる。また、焼き菓子の新商品を出すことが出来た。
- ・10月のコンクールに向け他の商品のアイデアを出していき製品化を進めると共にラッピングの工夫をしていきたい。

## 1 2 Casa Shimizu (カーサしみず)

### 【令和3年度成果】

1 ご利用者のニーズに沿った安心して暮らせる住環境の提供をする。

達成率90%

- ・毎日、共有部分、各階ごとに世話人が清掃を行っている。
- ・毎月の防災訓練、防災チェックなどを欠かさず行っている。
- ・コロナ感染のときも、隔離を行い、感染を最小限に抑えることができた。
- ・一部、フロアの隣人が不安定時、大きな声を出したり、壁を叩いたりして音がうるさいと、安心して暮らせない状況があり支援している。

2 ご利用者の意思及び人格を尊重し、利用者の立場に立った支援を行う、適切に効果的なサービス提供が行えるような個別支援計画の作成をする。

達成率100%

- ・ニーズ調査の傾聴を行い、関係部署の意見書を頂き、モニタリン及び該当月に、個別支援計画の作成を行っている。その後、ご本人への説明を行い、サインにて同意を頂いている。

3 地域において、共同して自立した日常生活又は、社会生活が営むことが出来るように支援する。達成率70%

- ・コロナウイルス感染の影響により、日常ではない非日常生活になってしまったことがあった。
- ・社会生活もストップしてしまうことがあり、思うような生活が出来なかった。

4 心身の状況の把握と健康管理を医師、看護師と相談しながら努める。

達成率100% 健康管理を医師、看護師と相談しながら務めた。

5 金銭管理は間違いが起きないように行い、買い物支援等は利用者さんの意見希望を聞き、要望に沿える支援を行う。達成率100%

- ・金銭管理が難しいご利用者には、ノートにレシートを貼り、使用した目安が分かるようにしたり、週ごとに分けてお金を渡したりして、一度に使用してしまい、ご本人が必要な時に、使えるお金がなく困らないように支援しました。

6 ご利用者の生活すべてにおいて、個人情報保護法に基づいた、権利が確保され、人格が尊重される体制をつくる。達成率90%

- ・個人情報保護に努め、権利の尊重、人権を守るよう努めたが、一部職員の言動による苦情がご利用者からありました。人格が尊重される体制づくりに

努めます。

7 地域との連携や交流に参加できるように支援する。達成率40%

・コロナウイルス感染まん延の影響から、達成が難しかった。

8 緊急時及び防災時のご利用者の防災意識の向上や緊急時の対応支援を行い、緊急時の対応に備える。達成率90%

・コロナウイルス感染クラスターが施設内で発生した月の防災訓練が行えなかった以外は、年間予定の防災訓練、夜間の防災点検に努めた。

・救急車搬送の利用者の対応も職員が冷静に対応することができた。

9 平日の日課の充実、休日の余暇の充実が図れるよう、ご利用者の支援度に合った計画を立て、生活の充実を図る。達成率50%

・コロナウイルス感染状況から、余暇外出を控えて頂くこともあり、充実した生活とはならなかったが、支援度に合った対応はその都度、提供できることを考えて努めた。

10 健康に留意した家庭的な食事提供をし、食事を楽しんでもらえるような献立作成を行う。達成率90%

・朝食のパンメニューがマンネリ化し、飽きてしまったとの声があった。メニューの見直しを行う。退院をされ、食事に配慮が必要な方への食事の提供をしなければならぬご利用者に対し、朝食・昼食（お弁当を作り持たせる）のメニューを考え提供した。リクエストメニューのアンケートを取り、ご利用者が楽しめる食事の提供に努めた。

・季節行事を通して、ご利用者が楽しめる食事提供を行った。

日中サービス支援型グループホーム

	R03 計画目標	R03 実績見込み	R04 計画目標
一日平均入所児（者）数	20	17.5	20

短期入所

	R03 計画目標	R03 実績見込み	R04 計画目標
年間利用延べ人数	36	31	48
一日平均利用人数	0.09	0.08	0.13

【人材育成・チーム形成計画】

1 世話人の支援の質の向上を図るため、支援方法の研修会や、外部研修の参加を積極的に行う。達成率70%

・コロナ禍で、外部研修は参加が難しかった。Zoomなどを活用して行うように努めた。

2 人権、権利擁護、虐待防止のための勉強会を行い、適切な支援を行えるようにする。達成率90%

- ・部会研修会の中で議題に入れ、職員同士で話し合うことができた。
- ・改善が必要な部分については、改善案を提示し、実施後、確認を行うことができた。

3 緊急時や防災時に適切に対応できるように、避難訓練や防災マップを使っての研修会を行う。達成率90%

- ・コロナウイルス感染クラスター月以外は、年間計画に沿って、ご利用者も参加しての訓練や研修会での話し合いを行うことができた。

<成果>

- ① 「分からない」を無くし、チームで取組む一体感を構築できる。…70%  
インシデント、ヒヤリハットが21件発生した。  
服薬に関することが多くあった。情報の共有不足、確認不足、マニュアルの不遵守によるものがあり、研修会を行い、チーム全体で改善取り組みを行う。
- ② 目的や方針を共有し、チームが同じ方向を向いていけること。…80%  
1年が経過し、チームとしていろいろな意見を交わし、同じ目標に向かい取り組むことができた。
- ③ 目標達成に必要なスキルを持った人材の育成ができる…80%  
1年が経過し、目標達成に向かいチーム一丸となって取り組めた。

### 1 3 Lavoro Mizuho (ラヴォーロみずほ)

#### 【令和3年度成果】

#### 1 定員数の確保をする。達成率：25%

##### LavoroMizuho 就労継続支援B型

	R03 計画目標	R03 実績	R04 計画目標
一日平均利用者人数	20	4.3	10

- ・常時定員20名が目標、現員5名。
- ・見学から実習、入所へと結び付けていく。  
(令和3年度 実習実績報告)  
5月1名・10月1名・11月～12月1名・12月1名
- ・令和4年4月に1名の静岡大学付属特別支援学校卒業生が令和3年度洗濯業務実習を経て利用予定。
- ・希望者への見学・実習を積極的に行う。
- ・特別支援学校の実習生を受け入れ、また利用希望者を増やす。
- ・特別支援学校進路担当教員等への受入れ状況等を含む連絡調整を積極的に行う。
- ・年2回の福祉部会及び必要に応じて見学会を実施
- ・現利用者の事業所離れを防ぐ。毎月一回の「お便り」で事業所を見に来られない保護者の方へ様子を伝える。
- ・働く事の楽しさ、やりがい作業を通して感じられるよう、丁寧な対応・寄り添い・コミュニケーションを取りながら行っていく。

#### 2 目標年間平均工賃30,000円以上 達成率：100%

- ・コインランドリーを併設した事業所として、10月1日にオープン。現在、コインランドリーThreeの店舗売上と洗濯代行サービス業務から工賃を支払う。今後はお客様への洗濯物を預かり、代行して洗濯を行う作業や自主製品の製造・販売を自前の設備を持ち運営していくことで、工賃に繋げていきたい。

#### 3 ご利用者への支援の充実 達成率：90%

- ・保護者参観会を後期(11月)に安倍野工房と一緒に挙げる。LavoroMizuhoの事業所までお越し頂けなかった分、お便りで利用者様の作業様子や事業所の様子を載せてご覧になっていた。毎日ご家庭に持ち帰る作業日誌をご覧いただき、事業所での様子を伝え、ご家庭の様子をご記入頂き、家庭との連携強化を図っている。モニタリングを行い、ご意向なども取り入れている。